

2014年度日医大学英语

解答

[I]

問1

(1) ②

(2) ②

問2

1. c

2. d

問3

ア exception / extreme, etc

イ examples / evolutions /
emergences, etc

ウ employees / enterprises,
etc

問4

a strong consolidated
healthcare team, etc

問5

Contrary to this, etc

問6

(1) access

(2) promise

(3) supplement

問7

しかしながら, どんなに十
分(訓練されて)いようが,

(すべての) 答えがわかる

わけではなく, 要求される

(すべての仕事を) 個人的
にこなすことも到底でき
るわけでもない。

問8

あるアメリカ医学研究所
のワーキンググループが,
成功した専門家の連帯に
よるチーム医療に対して
キーポイントとみなす, 原
理および価値観に関して

[II]

問1

1. accomplished

2. occupied

3. intended

4. worry

5. resort

6. fits

問2

7. b

8. b

9. c

10. d

問3

(c)・(g)

問4

(1) →necessary

(4) →does

(8) →execution

問5

A.

without any ideas what
the words are, etc

B.

need an understanding of,
etc

[III]

1. 最も信頼性のある最新
情報を迅速に手にいれたい
という視聴者からの期待

2. ジャーナリストたちは,
ニュース収集という完結さ
れていないプロセスの最中
に, たびたびストーリーを
配信することを要求される
かもしれない

3. 1-a, 2-b, 3-d

4. available to any of us,
etc

5. a kick in football , etc

6. b・f・g

配点

〔Ⅰ〕問 1～3 各 2 点 問 4、5 各 4 点 問 6 各 3 点 問 7、8 各 5 点 ($2\times 7+4\times 2+3\times 3+5\times 2$)

〔Ⅱ〕各 2 点 (2×16)

〔Ⅲ〕1.4 点 2.5 点 3.各 2 点 4、5.各 3 点 6.各 2 点 ($4+5+2\times 3+3\times 2+2\times 3$)

〔Ⅰ〕

和訳

もし私がチームという環境で活動しないとしたならば、自分の仕事をすることができないだろう。救急医、医師助手、ナースプラクティショナー、正看護師、准看護師、患者看護助手、患者支援者、ソーシャルワーカー、そしてメンタルヘルス専門家、ならびに登録と管理運営人事担当が私のいつものメンバーである。薬剤師、放射線チーム、専門医と技術者から成る我々の病院スタッフは言うまでもない。我々全員は果たすべき役割を持っていて、いつも調和してその役割を果たしている。

我々が会おう症例の多様性と緊急のために、私のチームを基盤とした医療への取り組みは、救急科にとっては $\boxed{\text{ア}}$ というよりはむしろ標準である。

しかし救急科は一人ではない。最近ではほとんどの医師が患者のケアをするために多様な専門技術を必要とするのが普通である。我々は、患者を苦しめている 13,600 以上の異なる診断を識別してきた世界で医療行為を行っている。それらの困った問題を治療する為に、痛みを緩和して生命を延ばして時には病気を完全に止めるために 6,000 以上の薬の選択がある他、4,000 の医療行為や外科手術がある。

その医師はこの複雑な体系の中で中心的主導的役割を果たしている。しかしながら、どんなに十分訓練されていようが、すべての答えがわかるわけではなく、要求されるすべての仕事を個人的にこなすことも到底できるわけでもない。

この複雑さは、我々が広く多様な専門技術のノウハウ、ツールそしてその他の情報を使うことができるシステムに基づいた健康管理対策を必要としている。そして我々はその方向へ現在向かっている。アメリカにおけるオバマケア(医療保険制度改革)が可決される前でさえも、我々は、全体として安いコストで患者により良い治療を約束する ACO(不必要な検査や重複などを取り除きコストカットを目指す医師と病院の連帯ネットワーク)と PCMH(患者本位の医療基地としての捉え方)のような代替医療モデルを目にしはじめていた。そして Mayo Clinic やペンシルバニアの Geisinger Health Center そして Intermountain Healthcare のような非常に先駆的な場所において、我々は長年にわたり、成功してきたチームでの医療行為の $\boxed{\text{イ}}$ をもっている。

10 年前、医師の多数は、独立しているか自営もしくは小規模で医療を行っていた。今日、たったの 4 分の 1 が単独または小規模医療を実施している。我々は一般的には、もっと多くのサポートと改善されたライフワークバランスとそして患者により良いサービス提供の機会を与えるための、統合した多様な専門医が行う医療や病院と健康保険制度の $\boxed{\text{ウ}}$ となってきたのである。確かに、これらの変化には代償が生じるが、それらが軌道に乗っている

ことを疑ったり否定したりするものはほとんどいないだろう。

医師が率いるチーム基盤の医療は将来への道であるように思えるが、その成功のためにたくさんのことが生じなくてはならない。そして多くの変化が医師たち自身に集中することになるだろう。

最近、あるアメリカ医学研究所のワーキンググループが、成功した専門家の連帯によるチーム医療に対してキーポイントとみなす、原理および価値観に関して、2012年10月3日発行の *The Journal of the American Medical Association*（アメリカで最も権威のある学会誌）にある記事を発表した。そのワーキンググループは、それは簡単な移行ではないだろうと暗示していた。机の周り、患者の医療環境において、ちょうど11人の高度な訓練を受けた選手を集めて勝てるフットボールチームにならないように、単に高度な訓練を受けた人々の集団を集めるだけでは[A]ならない。

高度に調整されたチームワークなしでは分担された責任はうまく機能しない。我々はチーム医療におけるこの進化を続けるにあたり、協力して、各医療チームのメンバーが患者を助ける為に独自の技術と知識を持つことへの信頼と認識を育成する為に、十分な時間、そしてエネルギーは、チームのトレーニングに割り当てられなくてはならない。我々は、隠し立てせずにタイムリーな意思疎通でこの信頼を補い、支持しなくてはならない

そのチームのそれぞれのメンバーは、それぞれのトレーニングと専門の限界まで医療行為をするべきである。チーム医療は、個人の専門の教育や経験の種類、期間、質はもはや問題でないということを暗示も正当化もしてはいない。[B]、チーム一人ひとりの貢献を最大限にするということはまた、チームメンバーそれぞれの限界を認識する必要があるということである。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- nurse practitioner 「ナースプラクティショナー（主にアメリカ、簡単な医師の仕事をする資格をもつ登録看護師）」
- patient care advocates 「ソーシャルワーカー」
- my regular companions 「常に付き合う仲間たち」
- not to mention 「～は言うまでもなく」
- physician specialist 「専門医」
- personnel 「人事」
- regularly 「いつも」
- in harmony 「調和して」
- the variety and urgency of the cases 「症例の多様性と緊急」
- practice 「医療行為」
- norm 「標準」 ⇔ abnormality, exception 「異常、例外」
- emergency department 「救急科」

- routinely 「日常的に」
- call on 「必要とする」
- diagnoses 「診断」 diagnosis の複数形
- ail 「苦しめる」
- along with 「～のほかに」
- remedy 「治療する」
- medical and surgical procedure 「医療行為と外科手術」
- stop a disease altogether 「完全に病気を止める」
- well-trained 「十分にトレーニングを受けた」
- individually 「個人的に」
- complexity 「複雑さ」
- have access to 物 「～を使うことができる」
- approach to health care 「健康管理対策，健康管理へのアプローチ」
- passage of the Affordable Care Act 「(アメリカにおける) 医療保険制度改革の可決」
通称 Obama care 「オバマ大統領が推進した健康管理制度」のことである。
- alternative care models 「代替医療モデル」
- accountable care organization 「ACO 不必要な検査や重複などを取り除きコストカットを目指す医師と病院の連帯ネットワーク」
- patient-centered medical home 「PCMH 患者本位の医療基地としての捉え方(施設よりも概念を指す)」
- team medical practice 「チームでの医療行為」
- self-employed 「自営」
- commonly 「一般的には」
- integrated multispecialty physician practice 「統合した専門医の医療行為」
- trade-off 「代償」
- well under way 「軌道に乗っている」
- Institute of Medicine 「アメリカ医学研究所」
- The Journal of the American Medical Association アメリカで最も権威のある学会誌
- interprofessional 「専門家の連帯による」
- sufficient time 「十分な時間」
- must be allotted to 「～に割り当てられなければならない」
- develop trust and recognition 「信頼と認識を育成する」
- supplement 「補い」
- to the extent of 「～の限りまで」
- justify 「正当化する」
- the type, duration and quality of the education and experience 「その教育や経験の種

類, 期間, 質」

○ maximize 「最大限にする」 ⇔ minimize

問 1 (1) ②

assistant [ə'sɪstənt]

athlete ['æθli:t]

practitioner [præktɪf(ə)nəl] 「開業医, 弁護士」

technician [tekniʃən]

問 1 (2) ②

complexity [kəmpléksəti] 「複雑さ」

procedure [prəsi:dʒə] 「手続き」

professional [prəfés(ə)nəl]

specialist [spéʃ(ə)list]

問 2 1-c

I couldn't do my job if I didn't operate in a team environment. 「もし私がチームという環境で活動しないとすれば, 自分の仕事をすることができないだろう」

仮定法過去の文とわかるので c.か d.となるが, I operate 「私は活動する (医療行為を行う)」としたいので c.が適切である。

問 2 2-d

but few would doubt or deny that they are well under way 「しかし彼らが軌道に乗っていることを疑ったり否定したりするものはほとんどいないだろう。可算名詞 people が省略されていると考える。この文の主語は few people である。

問 3 ア exception / extreme, etc

the norm rather than ア 「私のチームに基づく医療行為は, 救急科にとってはアというよりはむしろ標準である」 the norm との対比を考えると, exception 「例外」や extreme 「究極」などが挙げられる。

問 3 イ examples / evolutions / emergences, etc

we have イ of team medical practices that have been successful over many years. 「我々は長年にわたり, 成功してきたチームでの医療行為のイをもっている」 e から始まる単語を考えると, examples 「例」, evolutions 「進化, 発展」, emergences 「出現」などが該当す

る。

問 3 **ウ** employees / enterprises, etc

We commonly have become **ウ** of integrated multispecialty physician practices, hospital and health systems 「我々は一般的には統合した多様な専門医が行う医療，病院と健康保険制度の**ウ**となった」

E から始まる単語を考えると，employees 「従業員」，enterprises 「プロジェクト組織」などが，正解になると思われる。

問 4 a strong consolidated healthcare team, etc

5 語という条件なのでいろいろな解答が存在するだろう。同じ文にある a winning football team を参考に考えるとよい。a + [strong / high-functioning/ good / excellent / consolidated / successful] + healthcare / medical care team のようにチームとしてまとまっている良い特徴を表わす単語を組み合わせ，意味が通ればおおよそ正解となるだろう。

問 5 Contrary to this / To the contrary / I must say / In the end / To sum up / I must admit, etc

[B], maximizing the contributions of each individual team member also requires recognition of the limitations of each team member. 「チーム一人ひとりの貢献を最大限にするということはまた，チームメンバーそれぞれの限界を認識する必要がある」

前文の内容に対して Contrary to this / To the contrary 「それとは反対に」が適切である。前後の論理的な脈絡を示す語句としてベストと思われるが，一方，文尾において要点をまとめるようなフレーズ，I must say 「まったく」，In the end 「おしまいに」，To sum up 「要するに」，I must admit 「認めなくてはならない」などもおおよそ正解になるだろう。

問 6 (1) access

「何かを使うチャンスや権利」

第 5 段落第 1 文にある access に注目する。フレーズ have access to ～ 「～を使うことができる」という意味である。

we have access to a wide variety of expertise, tools and other information 「我々は，広く多様な専門技術のノウハウ，ツールそしてその他の情報を使うことができる」

問 6 (2) promise

「何か好ましいものが来る兆し」

第 5 段落第 3 文にある promise 「見込み」に注目する。offer the promise 「～を約束する」

という意味である。

alternative care models offering the promise of better care for patients at lower overall cost 「全体的に安価なコストで患者によりよい治療を約束する代替の医療モデル」

問 6 (3) supplement

「もっと大きく、より良くするために物を増やすこと」

第 9 段落最終文にある supplement 「補足する」に注目する。

we must supplement and support this trust with open and timely communication. 「我々は、隠し立てせずにタイムリーな意思疎通でこの信頼を補い支持しなくてはならない」
○with open 「隠し立てしないで」、○timely 「折よく、タイムリーな」

問 7 しかしながら、どんなに十分（訓練されて）いようが、（すべての）答えがわかるわけではなく、要求される（すべての仕事を）個人的にこなすことも到底できるわけでもない。

この文の主語は No one, 述語動詞は can know である。no matter how～ 「たとえどんなに～であろうとも」、否定文における possibly は「到底～できない」、individually 「個人的に、一人で」という意味である。

問 8 あるアメリカ医学研究所のワーキンググループが、成功した専門家の連帯によるチーム医療に対してキーポイントとみなす、原理および価値観に関して

they は an Institute of Medicine working group 「あるアメリカ医学研究所のワーキンググループ」を指す。group は構成要素を指すときには複数扱いとなる。

concerning～ 「～に関して」、principle and values that they consider key 「彼らがキーポイントとみなす原則と価値観」関係代名詞 which または that が省略されている。consider OC 「O を C とみなす」という意味である。

【Ⅱ】

和訳

読書は、それがどのように成し遂げられるのか、我々のほとんどが考えずに遂行できる複雑なスキルである。スキルのあるドライバーが、ギアレバーを握ることや左足のかかとの位置を考えずにギアを変える。そして読書もまた、特殊技能が必要だといえる。なぜならばその構成している活動は思考を必要としていないからである。この二文を読んでいる際に、異なる難易度の単語とフレーズを綿密に調べて、その単語を意味の認知の構築に統合した。あなたの頭の中では、各単語の意味についての思考に追われてきたとは考えにくい。例えばスキルのある運転についてのセンテンスの中で grip という語は旅行かばんま

たは大きめのバッグを意味することを目的とされたのか、それとも、あるいは握るというアクションを意味したのかどうかである。我々が読書をするとき、書き言葉を意味に変えているといえる。しかし個々の単語について気にするというのはほんの時折である。これは読書がいつも途切れることのない円滑な行為であると言っているのではない。なぜならば知らない単語に出会ってしまうとそれらによって邪魔をされることになり、穏やかな考えることの流れが停止するからである。これらの場合、我々はたびたびそれらが現れる文脈から意味を推測するという手段に訴えるが、これは頭の中でその筆者のストーリーに関する個人的な再構築を阻害してしまう。我々は、その単語がおそらく何を意味するのかという問題を解決することができる。そしてその単語がセンテンスの中でどのようにフィットするのか、文全体の意味について、段落における考えについて思考することができる。ここでは読書とわかるような単独行為はなく、我々は、読書を、構成要素を成している（前後関係から意味を推定するという）サブスキルのセットから成るとみなすだろう。我々が読書を定義しようとすれば、一般的な考えの活用によって、その筆者の考えを復元しようと試みで、言葉の統合へと向けられる問題解決の形であると暗示することによってというのが一番近いのである。読書を『問題解決』と表現することによって、もちろん我々はもう一つを説明する為に（問題解決という）一つの謎にみちた行為を利用してきた。そして我々は問題解決をすることが何を意味しているのか言うことの難しさを自分自身に示すことになる。読書とは、問題解決におけるすべての形のように、一つの情報処理のタスクとして説明することができる。

読書に必要な不可欠であるその構成要素のプロセスを特定するタスクとは、単純ではない。なぜかという直接アクセスできないからである。我々は、センテンスの音読を読者に求めることによって、読者の頭の活動をもっと『可視的』にさせようとするかもしれないが、これをする際に、筆者によって伝えられた意味を復元する以上のことを読者に求めている。そしてまたおそらくそれ以下のことを求めている。『以上』というのは、なぜならば意味を認識することは、書かれた形から公で話される形になる言葉の変換を必要としていないからである。また『以下』というのは、時には我々が [A] 発音できるからである。だから、印刷されたか紙に書かれている資料をある口頭表現に変える事は、そのテキスト（原文）を [B] とは言えない。しかし、とにかく、発音は読書のために必要条件ではない。同様に、我々は読書をしている間に何を考えているのか我々に話すようにボランティアの人たちに単に頼むだけで、読書を調査することはできない。盛んに実行されている活動について思考することは、たびたびその出来栄え（行動）を変えて、自動アクションの実行を干渉するだろう。我々はその活動を変えないであらゆる認知のタスクを内観することはできない。だから調査はより直接的でないものでなくてはならない。我々は、彼らが読書をしている間に何をしているのか尋ねることはできないのに対して、彼らが、測定できるような形で異なっている単語やセンテンスを読んでいるときに、我々は彼らを観察することならできる。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- be described as 「～とされている, ～と称される」
- skilled 「特殊技能が必要な」
- component activity 「構成している活動」
- inspect words and phrases 「単語とフレーズを綿密に調べる」
- varying difficulty 「異なる難易度」
- integrate 「統合する」
- cognitive construction 「認知の構築」
- holdall 「大きめのバッグ」
- transform A into B 「AをBに変える」
- only occasionally 「ほんの時折」
- continuously smooth activity 「途切れることのない円滑な行為」
- be disturbed by~ 「～に邪魔される」
- halt 「停止する」 =stop
- infer meaning 「意味を推測する」
- context 「文脈」
- interrupt personal reconstruction 「個人的な再構築を阻害する」
- identified as reading 「読書とわかる, 読書と特定される」
- a set of component subskills 「構成要素のサブスキルセット (前後関係から意味を推定するスキルを合わせたもの)」
- use of generality 「一般的な考えの活用」
- mysterious activity 「不可解な活動」
- present oneself the difficulty 「自分自身に困難を示す」
- straightforward 「単純な」
- read a sentence aloud 「センテンスを音読する」
- in doing this 「これをする際」
- the meanings conveyed by the writer 「筆者によって伝えられる意味」
- require the conversion 「変換を必要とする」
- from a written form to an overtly spoken form 「書かれた形式から公で話される形式」
- convert~ into 「～を～に変える」
- material 「資料」
- may or may not 「～であつたりなかったり, ～とは言えない」
- in any case 「とにかく, いずれの場合にも」
- a required condition 「必要条件」
- well-practiced activity 「盛んに実行されている活動」

- interfere with 「干渉する」
- the execution of an automatic activity 「自動アクションの実行」
- vary in some measurable way 「測定できるような形で異なっている」

問 1 **1** **accomplished**

第 1 段落第 1 文 most of us can perform without thought of how it(=reading) is accomplished 「我々のほとんどは、読書はどのように成し遂げられるのか、考えないで遂行できる」 it は reading を指している。most of us can perform 「我々のほとんどは遂行できる」と reading is accomplished 「読書は成し遂げられる」と対になっている。

問 1 **2** **occupied**

Your mind is unlikely to have been occupied with thoughts about the meaning of each word. 「あなたの頭の中では、各単語の意味についての思考に追われてきたとは考えにくい」
Your mind is unlikely to~ 「あなたの頭の中は、～とは考えにくい」という内容から推測すると be occupied with thoughts 「思考に追われる」が適切である。

問 1 **3** **intended**

the grip (in the sentence about skilled driving) was intended to mean a traveling bag or holall, or whether it(=grip) meant the act of grasping. 「その grip という語は、旅行かばんまたは大きめのバッグを意味することを目的とされたのか、それとも grip は握るというアクションを意味したのか」
○be intended to 「～することを目的としている」

問 1 **4** **worry**

but it is only occasionally that we need to worry about an individual word. 「しかし個々の単語について気にするというのはほんの時折である」
○worry about 「～について気にする」

問 1 **5** **resort**

we often resort to inferring their meanings from the context in which they (=unfamiliar words) appear 「我々はたびたび、知らない単語が現れる文脈から意味を推測するという手段に訴える」
○resort to 「最後の手段として～に訴える、～を用いる」、infer 「見聞きしたことから推測する」

問1 **6** fits

how the word fits in the sentence 「その単語がセンテンスの中でどのようにフィットするのか」

問2 **7** b

we shall regard reading as comprising a set of component subskills 「我々は、読書を構成要素を成しているサブスキルのセットから成るとみなすだろう」前後関係から意味を推定するというサブスキルである。

○regard A as B 「AをBとみなす」、○comprise 「(部分) から成る」

問2 **8** b

we have used one mysterious activity to describe another, 「我々はもう一つを説明する為に（問題解決という）1つの謎にみちた行為を利用してきた」読書を問題解決とみなすことによって、別のものを説明するのに謎にみちた行為をしたという主旨である。describe~ as 「~を~とみなす」という意味もあるが、ここでは to describe 「~を説明するために」という意味になる。

問2 **9** c

Similarly 「同様に」が適切である。前文で「発音は、読書のために必要条件ではない」と述べた後「読書をしている間に何を考えているのか我々に話すようにボランティアの人たちに単に頼むだけで読書を調査することはできない」とあることから、他の選択肢 a. b. d. は逆接にあたるのでふさわしくない。

問2 **10** d

Whereas we cannot ask readers what they are doing ~, we can observe them as they read words and sentences ~. 「我々は彼らが何をしているのか読者に尋ねることはできないのに対して、彼らが単語やセンテンスを読んでいるときに、我々は彼らを観察することならできる」cannot と can の関係に注目する。Whereas は接続詞である。Whereas A cannot ~, B can ~ 「Aができないに対してBはできる」という意味である。

○It is true that 「~は事実である」、○By contrast 「対照的に」

問3 (c)・(g)

(d)-(e)-(f)-(c)-(b)-(g)-(h)-(a)となる。(it is a form of problem solving that is directed) at the integration of words in an attempt to recover (the writer's ideas). 「その筆者の考えを復元しようと試みで、言葉の統合へと向けられる問題解決の形である」direct at~ 「(注意や努力

を) ~へと向ける」, in an attempt to V「~しようとする試みで」という意味である。

問 4 (1) → **necessary**

necessary for「~に必要不可欠である」

問 4 (4) → **does**

recognizing meanings「意味を認識すること」が主語である。

問 4 (8) → **execution**

the execution of an automatic activity「自動アクションの実行」ここは動詞ではなく名詞が入る。execute「実行する」の名詞は execution である。

問 5 A. **without any ideas what the words are, etc**

「その意味をわかっていなくても」という主旨になればよい。また mysterious words, unknown text, unfamiliar words「わからない言葉」のような名詞もあてはまるだろう。

問 5 B. **need an understanding of, etc**

「単語や文の音読はそのテキストの理解を求めるとは言えない」という主旨にする。need an information about , necessarily demand a meaning of など。

[Ⅲ]

和訳

ほぼ 200 年の間に毎日の報道の多くは迅速で最速であることに集中してきた。1890 年代街の通りで新聞号外や第二次世界大戦でのロンドン爆撃のラジオ放送は、(その時代時代の新しい技術を活用して) いかに迅速な伝達が 19 世紀と 20 世紀においてジャーナリズムの名声を確立したかを示してきた。1963 年ジョン・F・ケネディ大統領の暗殺の余波のライブ放送から 2003 年 3 月イラクにおける交戦地帯からのライブ放送と 2011 年 2 月のエジプトでの民主化抗議活動からのツイッターやスカイプのレポートまですべてが、ニュースの視聴者は最速で最も信頼できる方法で配信される最新のニュースを高く評価すると示している。

モバイルやデジタル技術のおかげで、どこによつて誰からでも簡単にすばやく情報を『得る』能力は、それらの期待に応えるために、それを配信する我々の中の人たち、例えばジャーナリスト、にプレッシャーをかけてきた。さらに携帯電話を使って誰でも現在進行形

でツイートしたりニュースのイベント写真をアップロードしたりすることによって、偶然のジャーナリズムの行動をとることができることは、迅速で最速の情報に対する視聴者の要求に応じようとさらなるプレッシャーをかけている。そのような期待に応える為に、ジャーナリストはそのニュースの大事な要素を配信しながら、すばやく報道に出すために利用できるツールを活用しなくてはならない。この10年の間に、かつては大量の技術と衛星時間を利用するテレビネットワークにライブ放送を限定していたツールは、[A]であるデバイスと配信方法へと変わってきている。十年足らずで、大きな法廷尋問のような主なニュースの出来事のライブ放送を提供するためにブログを使い始める新聞が出てきた。それは生のニュース報道において、ラジオやテレビと競合できる方法を新聞に提供した。最近では、報道機関はライブ報道のための様々なウェブツールを持っている。これらはもうすでにあなたが友達や家族、あるいは似たような興味をもった人々やオンラインコミュニティに伝達する為に使っているかもしれないツールである。これらは **Flicker, YouTube, Twitter, Facebook** などメール、ビデオ、写真、オーディオをアップロードできるあらゆるサイトである。しかしこのような報道のためのツールを使うことは、報道価値の意識、倫理観、その視聴者やそのストーリーに対する責任感の向上が求められる。これら全てはそのニュースを報道しながら同時に意思決定を必要としている。

ジャーナリストはたびたび情報を集め、それからニュースルームに戻りその全てを振り分けて、ストーリーやニュース原稿、オンラインのテキストと画像のセットを書くための時間と機会があった。いくつかは報道している間に決定され、他の決定はそのストーリーの作成時間までに残されるかもしれない。現代の即時のニュースに対する要求は、ジャーナリストたちは、ニュース収集という完結されていないプロセスの最中に、たびたびストーリーを配信することを要求されるかもしれない、ということの意味する。何十年もの間、ラジオやテレビのリポーターは、ライブ報道中に情報の準備についてこのような種類の即座の意思決定をしなくてはならなかった。スポーツジャーナリストは、試合という行動を要約した1つのストーリーを組み立てる前でさえも、そのアクションにおいて（例えば野球で走るとか[B]のような）主な出来事の経過を追いかけてながら、試合でのアクションのプレー1つ1つを配信しなくてはならなかったかもしれない。現在、誰でも情報と写真を投稿することで即座に、ジャーナリズムの偶然の行動を取ることができる。そのようなものとして、プロのジャーナリストは、それらの信憑性と信頼性のような彼らの長所を促進させるべきである。そうすれば、視聴者が要求し頼る瞬時の正確なニュースを配信することができる。

<出題された単語・熟語・文法・センテンス>

- focus on 「～に集中する」
- fast and first 「迅速と最速」
- extra edition of newspaper 「新聞の号外」

- The live television coverage ~ **to** live reporting from war zone in Iraq ~, and the Twitter and Skype reports ~, 2011 「生のテレビ報道から、イラクにおける交戦地帯からのライブ放送と 2011 年の～ツイッターやスカイプのレポートまで」 from A to B の from の方が省略されていることに注意する。
- aftermath 「余波」
- value 「高く評価する」
- democratic protest 「民主化抗議活動」
- those of us who deliver it, i.e. journalists 「それを配信する我々の中の人たち, 例えばジャーナリスト」
- in addition 「さらに」
- commit a random act 「偶然の行動を取る」
- address expectation 「期待に応える」
- the key elements of news 「そのニュースの大事な要素」
- during the past decade 「この 10 年の間に」
- live reporting 「ライブ放送」
- less than a decade ago 「10 年前に満たない→10 年足らずで」
- court hearing 「法廷尋問」
- a sense of newsworthiness 「報道価値の意識」
- a sense of ethics 「倫理観」
- instantaneous news 「即時のニュース」
- call upon 「要求する」
- in the midst of 「～の真っ最中」
- instant decision-making 「即座の意思決定」
- readiness of information 「情報の準備」
- may have had to deliver “play-by-play” 「プレーごとに配信しなくてはならなかったかもしれない」
- keep track of 「～の経過を追う, 記録をつける」
- put together a story 「1 つのストーリーを組み立てる」
- summarize 「要約する」
- post information and picture 「情報と写真を投稿する」
- credibility and reliability 「信憑性と信頼性」
- as such 「そのようなものとして」
- accurate 「正確な」

1. 最も信頼性のある最新情報を迅速に手にいれたいという視聴者からの期待

第 1 段落最終文に注目する。「ニュースの視聴者は最速で最も信頼できる方法で配信される

最新のニュースを高く評価する」と述べられているので, the latest news, the quickest, most reliable way というキーワードが入れて答えるといよい。

2. ジャーナリストたちは, ニュース収集という完結されていないプロセスの最中に, たびたびストーリーを配信することを要求されるかもしれない

call upon「要求する」, deliver a story「ストーリーを配信する, 話を伝達する」, in the midst of「～の最中に」という意味である。the incomplete process of newsgathering「ニュース収集という不完全なプロセス」この of は同格である。

3. 1-a

To **address** those expectations「それらの期待に応えるために」

○address expectation「期待に応える」

3. 2-b

It provided **newspapers with a way to compete with radio and television** in live news coverage.主語である It は, ブログを活用している新聞のことである。新聞の中にはブログを使ってライブ放送を提供しているものもあると前文に述べられている。b. 「ラジオやテレビと競合できる方法を新聞に提供した」が適切である。

3. 3-d

professional journalists should promote their **strengths** such as their credibility and reliability「プロのジャーナリストは, それらの信憑性と信頼性のような長所を促進させるべきである」credibility and reliability という例が挙げられているので, d. 「強み, 長所」がふさわしい。

a. 「考え, 意見」

b. 「正体, アイデンティティ」

c. 「眺め」

4. **available to any of us / cost-effective and easy to handle / widely available / simple to use and available with little cost, etc**

「かつては大量の技術と衛星時間を利用するテレビネットワーク」に対比させて, 「誰にでも使いやすい」という内容であればおおよそ正解となるだろう。

5. **a kick in football / a shot in soccer / a block in volleyball, etc**

スポーツにおける 1 つのアクションを示す言葉を入れるとよい。

6. (b), (f), (g)

(a)「ラジオとテレビは 20 世紀において、ジャーナリズムの迅速で即時のアプローチのペースを上げた」第 1 段落第 1・2 文より一致する。

○approach「取り組み方, アプローチ」

(b)「200 年近くの間メディア技術の発達は、先行している技術にとって深刻な脅威とみなされてきた」テキストに記載なし。

○threat to「～にとっての脅威」, ○preceding「先行している」

(c)「持ち運びできる技術の影響の多くは、インターネットとの繋がりで、どこでもあらゆる出来事に即座な反応を提供するためのジャーナリズムに置かれたプレッシャーの中にいる」第 2 段落第 1 文に一致する。

○the impact「影響」

(d)「今日のニュース視聴者たちは、昔からの印刷されたメディアよりもオンラインニュースに、より魅力を感じる」第 1・2 段落の内容に一致する。

(e)「ニュース収集とニュース報道における最新技術の採用は、ジャーナリストに対しての新しいモラルと倫理の問題を切り開いた」第 2 段落第 10 文に一致する。

○open up「切り開く」

(f)「ジャーナリストは、信用信頼を促進する行動の一定基準を忠実に守りながら、正確で公平であることを期待されている」このテキストでは even-handed「公平」という言葉はでてきていない。

○adhere to「～を忠実に守りながら」, ○certain standards of action「行動の一定基準」

(g)「報道が共同的で利益になることの必要性は、何をどのように報道するかについてジャーナリストが行う決定を導くこともできる」テキストに記載なし。

○profitable「利益になる」, ○guide「導く」

(h)「情報収集とニュース報道のツールの使用と利用の手軽さのために、偶然ジャーナリズムの行為をする人々は、増加するだろうと、この著者は主張している」第 2 段落第 2 文に一致する。

○maintain「主張する」

<出題された単語・熟語・文法>

- patient care advocates「ソーシャルワーカー」
- my regular companions「常に付き合う仲間たち」
- not to mention「～は言うまでもなく」
- physician specialist「専門医」
- personnel「人事」

- regularly 「いつも」
- in harmony 「調和して」
- the variety and urgency of the cases 「症例の多様性と緊急」
- practice 「医療行為」
- norm 「標準」 ⇔ abnormality, exception 「異常, 例外」
- emergency department 「救急科」
- routinely 「日常的に」
- call on 「必要とする」
- diagnoses 「診断」 diagnosis の複数形
- ail 「苦しめる」
- along with 「～のほかに」
- remedy 「治療する」
- medical and surgical procedure 「医療行為と外科手術」
- stop a disease altogether 「完全に病気を止める」
- well-trained 「十分にトレーニングを受けた」
- individually 「個人的に」
- complexity 「複雑さ」
- have access to 物 「～を使うことができる」
- approach to health care 「健康管理対策, 健康管理へのアプローチ」
- passage of the Affordable Care Act 「(アメリカにおける) 医療保険制度改革の可決」
通称 Obama care 「オバマ大統領が推進した健康管理制度」のことである。
- team medical practice 「チームでの医療行為」
- self-employed 「自営」
- commonly 「一般的には」
- integrated multispecialty physician practice 「統合した専門医の医療行為」
- trade-off 「代償」
- well under way 「軌道に乗っている」
- Institute of Medicine 「アメリカ医学研究所」
- interprofessional 「専門家の連帯による」
- sufficient time 「十分な時間」
- must be allotted to 「～に割り当てられなければならない」
- develop trust and recognition 「信頼と認識を育成する」
- supplement 「補い」
- to the extent of 「～の限りまで」
- justify 「正当化する」
- maximize 「最大限にする」 ⇔ minimize

- be described as 「～とされている, ～と称される」
- skilled 「特殊技能が必要な」
- component activity 「構成している活動」
- inspect words and phrases 「単語とフレーズを綿密に調べる」
- varying difficulty 「異なる難易度」
- integrate 「統合する」
- cognitive construction 「認知の構築」
- holdall 「大きめのバッグ」
- transform A into B 「AをBに変える」
- only occasionally 「ほんの時折」
- continuously smooth activity 「途切れることのない円滑な行為」
- be disturbed by～ 「～に邪魔される」
- halt 「停止する」 =stop
- infer meaning 「意味を推測する」
- context 「文脈」
- interrupt personal reconstruction 「個人的な再構築を阻害する」
- identified as reading 「読書とわかる, 読書と特定される」
- use of generality 「一般的な考えの活用」
- mysterious activity 「不可解な活動」
- present oneself the difficulty 「自分自身に困難を示す」
- straightforward 「単純な」
- read a sentence aloud 「センテンスを音読する」
- in doing this 「これをする際」
- the meanings conveyed by the writer 「筆者によって伝えられる意味」
- require the conversion 「変換を必要とする」
- from a written form to an overtly spoken form 「書かれた形式から公で話される形式」
- convert～ into 「～を～に変える」
- material 「資料」
- may or may not 「～であつたりなかったり, ～とは言えない」
- in any case 「とにかく, いずれの場合にも」
- a required condition 「必要条件」
- well-practiced activity 「盛んに実行されている活動」
- interfere with 「干渉する」
- the execution of an automatic activity 「自動アクションの実行」
- vary in some measurable way 「測定できるような形で異なっている」
- focus on 「～に集中する」

- fast and first 「迅速と最速」
- extra edition of newspaper 「新聞の号外」
- aftermath 「余波」
- value 「高く評価する」
- democratic protest 「民主化抗議活動」
- in addition 「さらに」
- commit a random act 「偶然の行動を取る」
- address expectation 「期待に応える」
- the key elements of news 「そのニュースの大事な要素」
- during the past decade 「この 10 年の間に」
- live reporting 「ライブ放送」
- less than a decade ago 「10 年前に満たない→10 年足らずで」
- court hearing 「法廷尋問」
- a sense of newsworthiness 「報道価値の意識」
- a sense of ethics 「倫理観」
- instantaneous news 「即時のニュース」
- call upon 「要求する」
- in the midst of 「～の真っ最中」
- instant decision-making 「即座の意思決定」
- readiness of information 「情報の準備」
- keep track of 「～の経過を追う，記録をつける」
- put together a story 「1 つのストーリーを組み立てる」
- summarize 「要約する」
- post information and picture 「情報と写真を投稿する」
- credibility and reliability 「信憑性と信頼性」
- as such 「そのようなものとして」
- accurate 「正確な」